

災害時はペットを連れて 避難（同行避難）をしましょう！



同行避難とは

災害発生時に、避難が必要となった場合、飼い主の方の安全の確保を優先しつつ、ペットと一緒に避難場所まで避難する行為を「同行避難」といいます。

※ 避難所で、ペットと人が同じスペースで過ごすことなどを意味する
同伴避難とは違います。

ペットを連れて一緒に避難しましょう

市の避難所では、ペットは人の住居スペースには入れません。一部の指定避難所では避難所の建物内や軒先等でペットを避難させることができます。対象の避難所や避難時のルールはQRコードから確認できます。また、平時から知人宅やペットホテル等、ペットの預け先を確保しておくことが大切です。



同行避難をしない場合に発生し得る問題

- ① ペットを残して行けないと、崩壊の危険のある自宅に留まる
- ② 逃げ出したペットが人を咬むなどして危害を加える
- ③ 逃げ出したペットが繁殖して生活環境に悪影響を与える（始末されない糞や尿などのため）

ペットの避難セットの準備をしましょう

- ☐ ケージ・キャリーケース ☐ 療法食・薬
- ☐ ペットフード・水（少なくとも5日分）
- ☐ 予備の首輪・リード（伸びないもの）
- ☐ ペットシーツ、トイレ用品（猫砂、うんち取りグッズなど）



同行避難のためには 日ごろからの準備が必要



ケージやキャリーバックに慣らす訓練

避難する時に使用するケージ等を日常的に安心できる場所にして
おくと、災害時にペットにとって逃げ場となります。

ペットの健康管理

動物と人間の共通の感染症があります。避難所で他人や他の
ペットに病気を感染させないように、そして、他のペットから自分の
ペットに病気が感染しないように普段から健康管理に努めましょう。



不妊去勢手術



狂犬病予防注射



ノミダニの予防
寄生虫の駆除



混合ワクチン

最低限のしつけ

普段から最低限のしつけを行うことで、避難先でのトラブルを防止
できます。



無駄吠えしない



決められた場所で
トイレができる



他人や他の動物、音や
物に慣らしておく

所有者明示の徹底

ペットがパニックになって逃げだしてしまっても、飼い主のもとに戻
れるように所有者明示をしましょう。



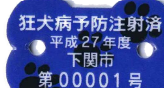
首輪・迷子札



マイクロチップ



鑑札



注射済票